

株式会社サンプル企業

価格改定のお願い

A 社向け 根拠資料

作成	AI 活用推進担当
日付	2026-10-24
版	1.0
機密区分	社外秘（A 社様限り）

目次

1. 結論
2. この文書について
 - 2.1 目的
 - 2.2 読み手
 - 2.3 範囲
 - 2.4 範囲に含まないもの
 - 2.5 前提と制約
 - 2.6 改訂履歴
 - 2.7 用語
3. 材料の建値は 5 年で 3 割上がっています
4. 貴社の 14 品目で、1 個あたり何円上がったか
 - 4.1 品目群ごとの内訳
5. 当社が先に行った努力を、あわせてご報告します
6. お願いの内容
7. 論点と未決
8. 次にやること

1. 結論

図表 1 要点

測ったこと	結果
原価はいくら上がったか	14.1% (14 品目の加重平均)
当社の合理化で吸収した率	3.2%
お願いしたい改定率	10.9%

資料: 本文の各節から

2. この文書について

2.1 目的

2027 年 4 月 1 日納入分からの価格改定をお願いするにあたり、**その根拠を数字でお示しする。**

2.2 読み手

- ・ A 社 購買部長
- ・ A 社 調達担当

2.3 範囲

- ・ 改定をお願いする品目と率 (継続 14 品目。貴社とのお取引全体の一部です)
- ・ 原価が上がった内訳
- ・ 外部指標との突き合わせ
- ・ 当社が先に行った努力

2.4 範囲に含まないもの

ここを書かないと、読み手は「書いていないこと=やること」と読みます。

- ・ 今後の数量のお約束 — 別途ご相談させてください
- ・ 他のお取引先様の条件 — お答えできません

2.5 前提と制約

前提が崩れたら、この文書の結論も崩れます。崩れたら作り直します。

#	前提	崩れたらどうなるか
1	2026 年 10 月時点の材料建値・外注単価を用いている	大きく動いた場合は、改めてご相談させていただきます
2	現行単価は 2021 年 4 月改定のものである	5 年 6 か月据え置いている

2.6 改訂履歴

版	日付	作成	承認	変更の要旨
0.5	2026-10-08	AI 活用推進担当	—	原価の積み上げを作成
0.9	2026-10-17	AI 活用推進担当	高梨 亮	外部指標との突き合わせを追加
1.0	2026-10-24	AI 活用推進担当	高梨 亮	A 社様への提出用に確定

2.7 用語

語	この文書での意味
建値	日本経済新聞に掲載される鋼材の指標価格。実勢価格とは異なるが、 第三者が確認できる数字 として用いる
加工賃	材料費を除いた、当社の工数・設備・間接費に対する対価

結論

状況 貴社には 2019 年より 14 品目をお納めしております。現行の単価は **2021 年 4 月**に定めたもので、以降 **5 年 6 か月**据え置いてまいりました。

問題 この間に、材料の建値が **快削鋼 SUM24L +31.4%、SUS304 +24.5%、アルミ A5052 +21.6%**、熱処理の外注単価が **+19.0%**、電力量料金が **+41.0%**、最低賃金が **+17.8%** 上がりました。その結果、**14 品目の平均で製造原価が 14.1% 上がっております。**

問い 現行単価のままでは、今後の安定した供給が難しくなります。

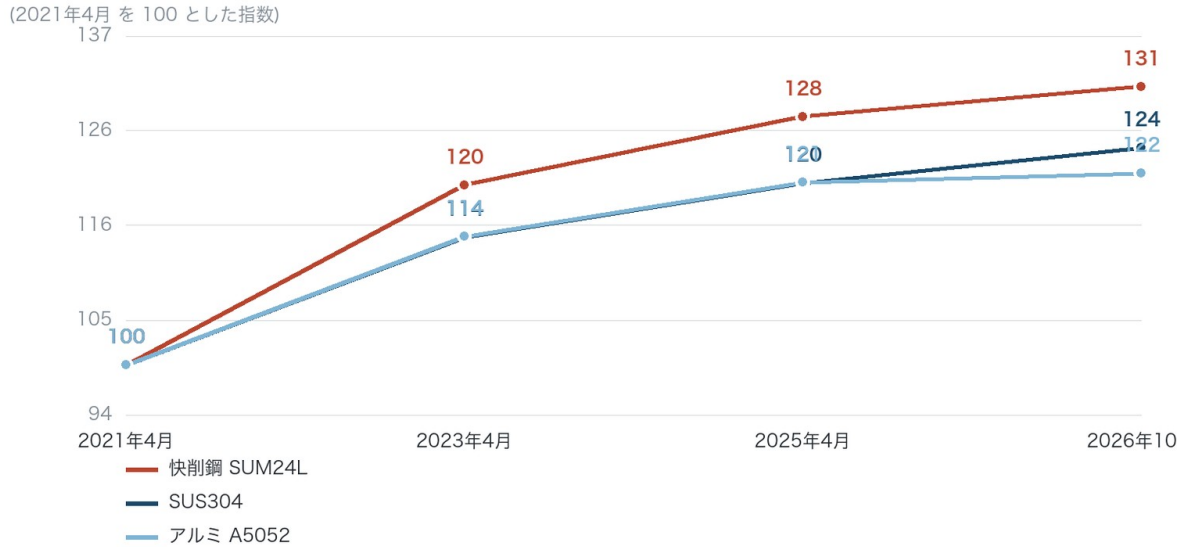
答え 2027 年 4 月 1 日納入分より、14 品目平均 10.9% の改定をお願いしたく存じます。原価上昇分 14.1% のうち、3.2 ポイントは当社の合理化で吸収いたします。内訳は次ページ以降にお示しします。

現行単価を定めた時期	2021 年 4 月	5 年 6 か月前
この間の製造原価の上昇	+14.1%	14 品目・売上で加重
当社の合理化で吸収する分	▲3.2 ポイント	5 件の改善
お願いする改定率	+10.9%	2027 年 4 月 1 日納入分より

資料: 本文の各節から

3. 材料の建値は 5 年で 3 割上がっています

図表 2 主要材料の建値の推移（2021 年 4 月 = 100）



いずれも第三者が確認できる公表値です。当社の申告ではありません。

資料: 日本経済新聞「鋼材市況」各年 4 月第 1 週/SUS・アルミは日刊産業新聞の建値

図表 3 主要材料の建値の推移（円/kg）

材料	2021 年 4 月	2023 年 4 月	2025 年 4 月	2026 年 10 月	上昇率
快削鋼 SUM24L（φ20～40）	118	142	151	155	+31.4%
SUS304（φ10～30）	425	486	512	529	+24.5%
アルミ A5052	612	701	738	744	+21.6%

資料: 日本経済新聞「鋼材市況」各年 4 月第 1 週/SUS・アルミは日刊産業新聞の建値

図表 4 材料以外のコスト

	2021 年 4 月	2026 年 10 月	上昇率	出所
熱処理の外注単価（1 ロット）	2,400 円	2,856 円	+19.0%	東光オートパーツ様 単価表
電力量料金（円/kWh）	17.8	25.1	+41.0%	ヨコハマ電力 請求書
最低賃金（神奈川県）	1,040 円	1,225 円	+17.8%	神奈川県労働局 公示

資料: 各社請求書および公的機関の公示

4. 貴社の 14 品目で、1 個あたり何円上がったか

代表的な品目について、原価を積み上げて比較しました。残り 13 品目は同じ方法で計算し、巻末の一覧にまとめております。

図表 5 MK-2847-03R (シャフト・快削鋼・月 420 個) の原価

	2021 年 4 月	2026 年 10 月	差	
材料費 (0.86kg)	101.5	133.3	+31.8	建値 118 → 155
加工費 (旋盤 4.2 分)	182.7	198.4	+15.7	労務・電力・償却
熱処理 (外注)	68.6	81.6	+13.0	1 ロット 35 個
検査・梱包	24.1	25.8	+1.7	—
製造原価 計	376.9	439.1	+62.2	+16.5%
現行単価	448	448	±0	据え置き
粗利	71.1	8.9	▲62.2	粗利率 15.9% → 2.0%

資料: 当社原価計算 (標準時間は 2026 年 9 月実測)

この 1 品目だけで、粗利が 15.9% から 2.0% まで下がっております。月 420 個で年 5,040 個。年間の粗利は 358 千円 → 45 千円となります。

4.1 品目群ごとの内訳

図表 6 14 品目の要約

品目群	点数	月産	月商	原価上昇	合理化	お願いする率
シャフト類 (快削鋼)	6 点	1,840 個	824,320 円	+16.1%	▲3.2	+12.9%
ブッシュ類 (SUS304)	5 点	920 個	478,400 円	+14.2%	▲3.2	+11.0%
カラー類 (アルミ)	3 点	2,100 個	399,000 円	+9.8%	▲3.2	+6.6%
合計・平均	14 点	4,860 個	1,701,720 円	+14.1%	▲3.2	+10.9%

資料: 当社原価計算

平均は売上 (月産 × 単価) で加重しています。点数や個数で単純に平均すると、単価の安い品目が実態より重く出ます。お願いする率は、どの群も「原価上昇 - 合理化 3.2 ポイント」です。

5. 当社が先に行った努力を、あわせてご報告します

値上げをお願いする前に、当社で吸収できる分は吸収いたしました。その内容をお示しします。

図表 7 2021 年 4 月以降に実施した合理化

時期	やったこと	効果
2022/06	材料の発注を月 2 回から週 1 回にまとめ、ロット単価を引き下げ	▲1.1%
2023/03	治具 4 種を内製化 (外注 320 千円 → 内製 110 千円)	▲0.4%
2024/09	旋盤 3 号機を更新。加工時間を 1 個あたり 0.6 分短縮	▲0.9%
2025/11	梱包材を見直し、1 ロットあたり 38 円削減	▲0.3%
2026/04	上位 12 品目の段取りを標準化 (42 分 → 37 分)	▲0.5%
合計	—	▲3.2%

資料: 当社の改善記録

原価上昇 14.1% のうち 3.2 ポイントは当社で吸収いたします。お願いするのは残りの 10.9% です。

6. お願いの内容

図表 8 改定のお願い

対象	貴社向け 14 品目すべて
改定率	平均 +10.9% (品目群ごとに +6.6% ~ +12.9%)
適用	2027 年 4 月 1 日 納入分より
経過措置	2027 年 3 月 31 日までのご発注分は現行単価で承ります
次の見直し	2029 年 4 月を目安に、建値が ±10% を超えて動いた場合はその都度ご相談させていただきます

資料: —

この率でも、粗利率は元の 15.9% には戻りません。代表品目で申し上げますと、改定後の単価は 506 円、粗利率は 13.2% にとどまります。不足分は引き続き当社で負担いたします。

なお、数量をまとめてご発注いただける場合は、ロット単価の低減分をお戻しする形でのご相談も承ります。合わせてご検討いただけますと幸いです。

7. 論点と未決

決まっていないことを、決まっていないと書きます。埋めてから出すと、決めた人が誰もいないまま進みます。

#	論点	選択肢	決める人	期限
1	貴社のご意向	① 提示のとおり／② 率の見直し／ ③ 時期の見直し／④ 数量条件とあ わせて再相談	A 社 購買部長	2026-12-20
2	経過措置の期間	2027 年 3 月 31 日までのご発注 分としておりますが、ご事情があ ればご相談ください	双方	2026-12-20

8. 次にやること

#	やること	誰が	いつまでに
1	本資料をご説明に伺う	高梨 亮 (代表)	2026-10-31
2	ご質問への回答をお出しする	株式会社サンプル企業	ご質問から 3 営業日 以内
3	残り 13 品目の明細をお送りする	株式会社サンプル企業	ご要望があり次第